

< 考察 >

< H25 年度 >

- ・全体を見ると、女子よりも男子の「毎日食べる」の割合が少ない
- ・低、中、高学年においての差異は特に見られない。
- ・目標数値として90%を設定したとすると、
2年女子、4年男子、6年男子が達していない。→ H26年度での調査結果を確認する必要がある。

< H26 年度 >

- ① 全体的な傾向としては、よく食べている。(全校80%以上)
ただし、朝食の質については分からない(パン1枚とかかかもしれない)
- ② 時々食べないという児童は、どの程度を「時々」と判断しているのか。月1か週1か…深く調査するとよいのでは？
- ③ 全く食べない児童について一番に考えなければいけない。(2年男1名、3年男1名、5年男1名について追跡調査が必要)

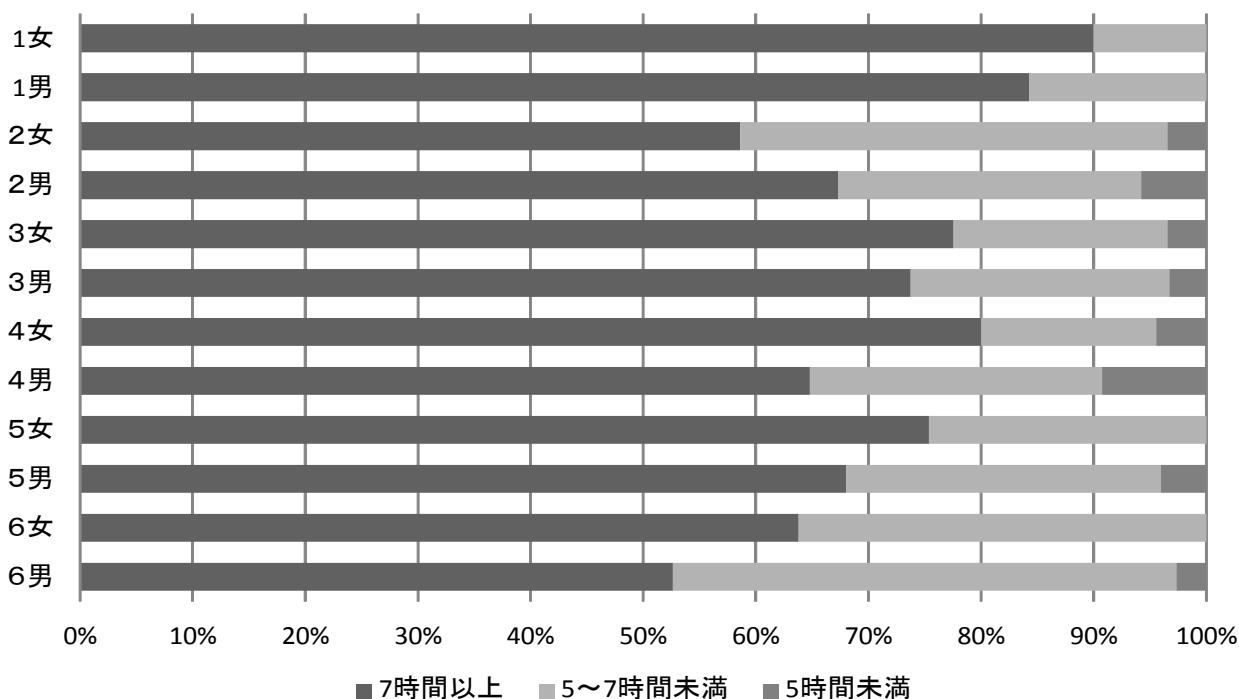
< H27 年度 >

- ① 昨年度と比較しても、朝食はよく食べている(全校85%以上)
朝食の質については分からない。
- ② 全く食べない、と答えたのは、6年生男女各1名、2年生1名の計3名。次回のアンケートで変化を見取っていきたい。

< 課題に挙げられたものをどう改善していくか >

- ・自分で作ることでできる朝食レシピの紹介(学年に応じて簡単なものなど)
- ・朝ご飯の大切さについて、呼びかけや放送、お便りなどで知らせていく。(給食だより・保健だより等の活用)
- ・朝食・睡眠時間・家庭学習時間等、生活リズムの改善が必要。チェックカードで生活リズムを調べる。毎日は難しいので、チェック週間などを設ける。

H27年睡眠時間



<考察>

<H25年度>

- ・全体を見ると、女子よりも男子の方が睡眠時間が少ない傾向がある。
→学力との関係のみてはどうか
(全国学力・学習状況調査では、7~9時間睡眠の児童の正答率が高い)
- ・2、3、4年生で、6時間未満の児童がいることが気になる。
→H26年度での調査結果を確認する必要がある。

<H26年度>

- ①どの学年もH26は昨年より減っている。(8時間以上)
- ②H25年度と同じく、女子よりも男子の方が睡眠時間が少ない傾向にある(学習時間が増えているわけではないようだ。)
- ③3年生男女の睡眠時間に問題あり。(6時間未満の子が多い。)

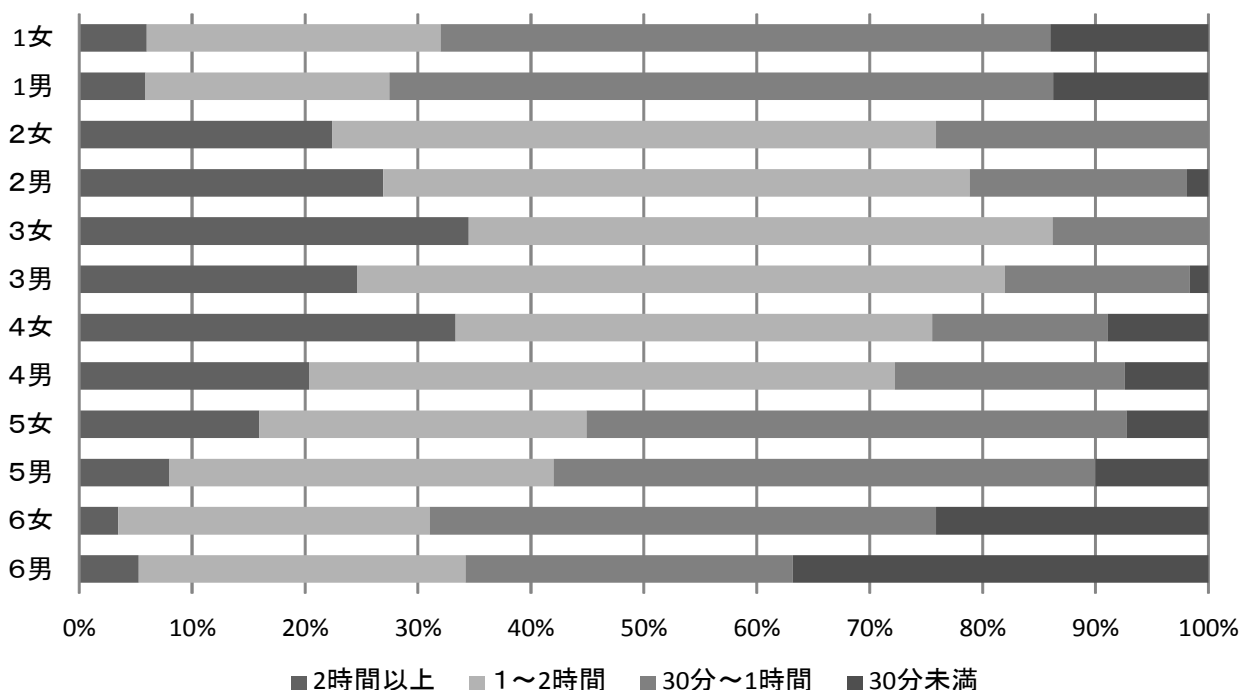
<H27年度>

- ①2年女子、4年男子、6年生の睡眠時間が少ない。
- ②一昨年度より女子より男子の方が睡眠時間が少ない傾向が続いている。改善が必要。
- ③帰宅後の時間の使い方について調査し、睡眠時間が確保できない理由を明確にする。調査の範囲を絞ることで、集計も楽になるのでは。

<課題に挙げられたものをどう改善していくか>

- ・H25年から見ていくと、該当学年が決まっている傾向があるので、該当学年については、何らかの方策が必要である。
- ・朝食・睡眠時間・家庭学習時間等、生活リズムの改善が必要。チェックカードで生活リズムを調べる。毎日は難しいので、チェック週間などを設ける。
- ・生活リズムを見直す機会を作る。(保健・生活などの授業を通して。保健だよりも、生活リズムを見直すチェック表等を載せて配布する、など)
- ・生活習慣、リズムを把握し、お便りや学級懇談会などで広く知らせる。課題を保護者と共有していく。

H27家庭学習



<考察>

<H25年度>

- ・学年が上がるにつれ、30分未満が増えている。
- ・学年×10分でみると、高学年の家庭学習時間が足りていない。
1、2、3年生→30分以上
4、5、6年生→学年×10分 を必要時間数にしたらどうか。
- ・家庭への呼びかけなど、改善への取り組みを考える必要があるのではないだろうか。

<H26年度>

- ①学年ごとに時間は増えている。
- ②全てにおいて女子は30分未満が少ない。
- ③宿題の出し方より、取り組み時間に差が出ているのではないか。
- ④5年生は少なくなっている。(H25・26も)
- ⑤30分未満を減らしたい。(5年生)

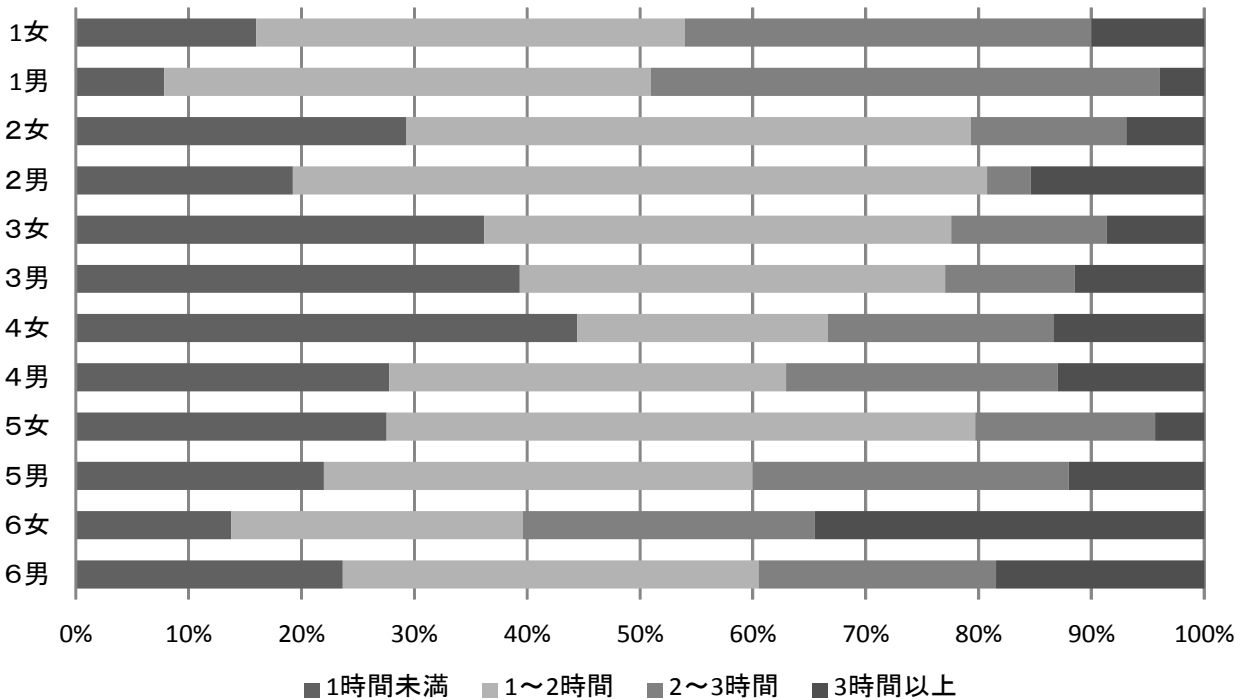
<H27年度>

- ①5、6年生で勉強時間が1時間以上の割合が少ない。
- ②傾向として、やや男子の勉強時間が少ないか。
- ③3・4年生の女子で勉強時間が比較的長い。学年等の取り組みが何かあるのか・・・？

<課題に挙げられたものをどう改善していくか>

- ・この調査の結果を知らせる場面は必要。お知らせ、個別懇談や学級懇談会など。(できれば2・3学期のはじめなどに伝えられるとよい)
- ・朝食・睡眠時間・家庭学習時間等、生活リズムの改善が必要。チェックカードで生活リズムを調べる。毎日難しいので、チェック週間などを設ける。
- ・家庭学習の目安となるパンフレット等の作成・配布

H27 TV視聴時間(ゲーム含む)



<考察>

<H25年度>

- ・3時間以上の視聴の割合が、低学年は1割未満、他は、学年が上がるにつれて増える傾向がある。
- ・「家庭学習時間が30分未満が多い」学年は、テレビ視聴時間が長い傾向がある。
→テスト結果との関係も見られないだろうか

<H26年度>

- ①H25・H26共に学年が上がると時間も増えている。
- ②高学年の睡眠時間が減っているのはテレビ視聴のせいかな？
- ③低学年・高学年よりも中学年が短い傾向にある。
- ④視聴時間は全体的に減っている。
- ⑤詳しい番組や時間を調査できるといいのではないかな。

<H27年度>

- ①H25・H26と同様、H27も学年が上がると時間も増えている。
- ②携帯電話、スマートフォン、インターネット等を使用している場合もある。TV以外のメディアも含めた使用時間として調査した方が良いのではないかな。
- ③6年生の女子が2時間以上視聴している割合が多い。

<課題に挙げられたものをどう改善していくか>

- ・朝食・睡眠時間・家庭学習時間等、生活リズムの改善が必要。チェックカードで生活リズムを調べる。毎日は難しいので、チェック週間などを設ける。
- ・子どもに目標を決めさせるカードを作る。
- ・この調査の結果を知らせる場面は必要。お知らせ、個別懇談や学級懇談会など。(できれば2・3学期のはじめなどに伝えられるとよい)